

ありがとう

清音小学校だより



No.7

令和8年7月17日
校長 藤本千登世

1学期ありがとうございました

1年生が4月に種をまいて育てたアサガオが涼しげに咲いています。早いもので、今日から夏休みに入ります。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力のおかげで、1学期を無事終えることができました。登下校時の安全見守り・学習支援・環境整備等で支えていただき、大変ありがとうございました。いずみの森の整備では、保護者や地域の方40名程のボランティアでご協力いただき、大変助かりました。感謝申し上げます。



地域の方とつるの世話

子ども達は、今学期、勉強や運動、学校行事など、夢（めあて）をもち努力を続けました。お子様と1学期を振り返り、頑張りをしっかり褒めてあげてください。

明日から子ども達は、40日余りの夏休みを家庭や地域で過ごすことになります。学校では、たった一つしかない命を大切に、安全には十分に気をつけて過ごすよう話しています。地域でもぜひ子ども達の様子を見守っていただき、気になることがありましたら、学校までお知らせいただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

「夢いっぱい 笑顔いっぱい ありがとういっぱい」の 夏休みに＜終業式の話より＞

- ①「夢いっぱい」 もう分かりますね？夢・めあてを持ち、決めたことを続けることです。特に普段できないようなこと、例えば、科学研究、絵や作文、自主学習、読書、水泳など何でもいいので「レッツトライ!」。夏休みが終わった時に、これ頑張ったよと言えるようにしましょう。
- ②「笑顔いっぱい」 おうちの方は、みんなの笑顔が一番元気にになります。
- ③「ありがとういっぱい」 ありがとうはみんなが幸せになる魔法の言葉でしたね。ありがとうを言うだけでなく、言ってもらえることをしましょう。それは、お手伝いです。毎日できるといいですね。普段からお世話になっているお家の方のためにも、笑顔とありがとうを心がけた夏休みにしましょう。

大切にしたい 愛情の一言と触れ合いを

子どもが頼んだことをしてくれたら、子どもを強く抱きしめ、次のようにささやいてあげましょう。「ママを助けてくれてありがとう」「ママは大助かりだわ」「ママは、こんなにやさしくて、すなおで明るい子が大好きよ」そっと、やさしくだくのではダメです。ギュとです。そして、8秒間という時間を守ってください。・・・8秒間の強い抱きしめで、子どものやる気、自立心が見事に育ちます。

『赤ちゃんは天才!』（著：七田真）より抜粋

“8秒間”は、科学的に調べたそうです。20年ほど前にこの書籍を読み、担任時には「8秒間抱っこ」を宿題にしたことがありました（してもらえなかった子どもにはフォローが必要でしたが）。宿題後の日記には「ふわふわして気持ちよかったよ」「いっぱいほめてもらってうれしかったよ」「生まれてよかった」等が書かれていて、感激したのを覚えています。お家の人からの抱きしめと褒め言葉で、愛されている感覚が倍增したのでしょうか。

夏休みは、お子様に手伝いや用事を頼んだりして、お子様を褒められるようにしかけてあげいただければと思います。



みんなで考えた「こんな清音にしたい」



「これは同じ意見だね」



「こんな清音に」の発表

今年度発足した学校運営協議会の取組として、7月8日に「清音の未来について話そう会!」を行いました。6年生、教職員、地域・保護者の皆様約25名、合わせて100名が参加し、「清音のいいところ・もっとこうなったらいいところ」をテーマに18グループで話し合いました。

最初は少し緊張した様子もありましたが、すぐに打ち解け、笑顔で意見をかわす姿が見られました。清音の魅力や未来への願いを付箋に書いて交流し、他のグループの共感した考えにシールを貼り合いました。最後は、それぞれグループの思いを込めて、「こんな清音に」と題名をつけました。

学校・家庭・地域が同じテーブルを囲み、子ども達の未来やふるさとの将来について語り合えたことは、学校運営協議会ならではの大きな一歩です。以下の感想のように、大変有意義な会になりましたことをうれしく思います。参加してくださった皆様、ありがとうございました。

一人一人の「こんな清音にしたい」という願いを大切にしながら、みんなで未来の清音を創っていきましょう。

<参加者の感想>

- 去年この会の記事を見て、来年は参加したいと思っていたので、参加させていただきました。子ども達、地域の方、先生方と話し合い、よりよい清音を共有できてよかったです。子どもたちの見本になれるよう意識していきたいと思います。有意義な時間になりました。(保護者)
- 子ども達とのふれあいの場に参加させていただき、ありがとうございました。さすが6年生。しっかりした態度、子ども達の協調性、積極性等、感心するとともにびっくりし、成長が楽しみです。(地域の方)
- 各グループごとに違う発想が出ており、大勢の人で考えるとより多くのよい案が出るものだと感じました。子どもと大人が一緒に考えることは、児童達にとってもとてもよい体験になったのではないかと思います。(地域の方)
- この話し合いをして、清音を幸せにするために、これからは挨拶をしたり募金をしたりしていきたいと思いました。自分の意見も言えたり、他の人の意見も聞けたので、よい話し合いができたと思います。(児童)
- 参加してみて自分の住んでいる地域のことを地域の人たちとこんなにも熱く語り合えて、楽しかったし、明るい雰囲気でした。これからは清音で自分が何かできることがあれば実践していきたいです。(児童)

<こんな清音に(一部)>

- 「みんな幸せ ボランティア精神あふれる清音」
- 「地域の人と仲良くなれるイベントで だれもが知り合いな清音」
- 「守っていこう 自然がいっぱいの清音 地域 みんなで」
- 「地域 みんなが名前を呼び合って あいさつするにぎやかな清音」
- 「自然が豊かでみんな仲良し いずれイオンがやってくる キレイな町清音」
- 「地域の魅力を発信できる清音」



みんなで「笑顔とありがとうあふれる清音」に！
みんなで「ふるさとがすきな子」に育てましょう！